

シラバス

授 業 科 目	神経・精神疾患と薬物治療(H18～)・疾患と薬物治療学Ⅱ(～H17)		
(英 文 名)	Pathophysiology of Neural & Psychic Disorders and Drug Therapeutics・Pathophysiology and Drug Therapeutics Ⅱ		
担 当 教 員	塩見浩人		
単 位 数 (期別)	△2(後)(H18～) ・2(後)(～H17)	対 象 学 生	3P(H18～) ・2PY, 2PS(～H17)

■授業のねらい・概要■

将来、適切な薬物治療に貢献出来るようになるため、代表的な精神・神経疾患の病態生理とその症状を理解するとともに、それらの疾患の治療薬の作用機序、副作用、使用上の注意について理解を深める。【C13(2)】、【C14(1),(2)】

■授業(学習)の到達目標■

各項目の達成目標は、項目ごとに配布する試料プリントの中に記載する。主なものは、①睡眠障害、てんかん、神経症、心身症、気分障害(うつ病・躁病)の病態生理と症状について説明できること。②睡眠障害、てんかん、神経症、心身症、気分障害(うつ病・躁病)の適切な治療薬とその作用機序、副作用ならびに使用上の注意について例をあげて説明できること。

■回数ごとの授業内容■

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1 【中枢神経系概説】中枢神経系の機能・伝達物質・受容体 | 11 気分障害(うつ病)の薬物治療 |
| 2 全身麻酔薬と麻酔補助薬Ⅰ・吸入麻酔 | 12 気分障害(躁病)の病態生理 |
| 3 全身麻酔薬と麻酔補助薬Ⅱ・静脈麻酔 | 13 気分障害(躁病)の薬物治療 |
| 4 睡眠障害の病態生理 | 14 てんかんの病態生理 |
| 5 睡眠障害の薬物治療 | 15 てんかんの薬物治療 |
| 6 神経症の病態生理 | |
| 7 神経症の薬物治療 | |
| 8 心身症の病態生理 | |
| 9 心身症の薬物治療 | |
| 10 気分障害(うつ病)の病態生理 | |

■成績評価の方法・基準■

①総括的評価のため、講義内容全体を網羅した期末試験をおこなうが、講義中の質問に対する対応も評価の対象とする。②各項目が終わった時点で到達度チェックを行う。③コンピューター自己学習施設(31号館1階)を利用して持続的に自己学習をすることも奨励する。③は、受講者全員に強制するものではないが、学習態度・意欲として最終評価において評価の対象になる。

■使用テキスト■

教科書は指定しない。ただし、個々の学生にとって理解し易い参考書を持つことを推奨

シラバス

する。講義にはプリントを配布する。その中に講義に対する学生の到達目標を明示する。

■参 考 書■

グッドマン・ギルマン薬理学（上・下）（廣川書店）、シンプル薬理学（南江堂）、NEW薬理学（南江堂）、標準薬理学（医学書院）、薬と疾病Ⅱ・薬物治療Ⅰ（東京化学同人）、薬剤師・薬学生のための臨床医学（文光堂）など。

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	月曜日～土曜日：随時
----------------------------	------------